

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

燕市長 佐野 大輔

市町村名 (市町村コード)	燕市 (15213)	
地域名 (地域内農業集落名)	分水1 (渡部、幕島、真木山)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年3月10日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区では後継者不足であり、新たな担い手の確保が必要である。一方で、圃場整備が完了しており、農地の集約化ができています。

主な作物:水稲

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稲を主要作物とし、渡部地区は渡部ファーム天神に、幕島地区はファーム幕島に、真木山地区は川西真新ファームに中心となってもらい、地域一体となって農業に取り組んでいく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	38.70 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	38.70 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
※農地の集積・集団化は既に対応済み。
(2)農地中間管理機構の活用方針
※農地の集積・集団化は既に対応済み。
(3)基盤整備事業への取組方針
※農地の集積・集団化は既に対応済み。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
予定なし。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
作業の効率化が期待できる防除作業は、農業共済への委託を進めるが、より良い委託先も開拓していきたい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①猪が出没する地域であるため、鳥獣被害防止対策を進めていきたい。
- ③スマート農業で防除作業を進めていきたい。